

いわき地域環境科学会会報



ふいーるど

FIELD No.116

< 目次 >

【行事案内】

- ★ 平成28年総会・懇親会..... 1
- ★ 平成28年度第1回幹事会..... 2

【報告】

- ★ いわき自然エネルギー研究会 2

【リレーエッセイ】

- ★ 季節を感じる身近な野草..... 4

【行事案内】

平成 28 年度 総会・懇親会のご案内

平成 28 年度の定期総会および交流会を下記のとおり開催します。

今回は、総会の後に会員相互の情報交換・意見交換の場として「懇親会」を開催いたします。日頃、会員の皆様がいわき地域の環境や当会の運営などについて考えていらっしゃることを話し合える場としたいと思いますので、どうぞお気軽にご参加ください。

記

1. 日時 平成 28 年 5 月 29 日 (日) 14 : 00 ~ 16 : 00
2. 場所 いわき市文化センター 中会議室(1),(2)
3. 内容 総会 14 : 00 ~ 14 : 50
 - (1) 平成 27 年度事業報告および会計報告, 監査報告
 - (2) 平成 28 年度事業計画案および予算案
 - (3) 役員改選
 - (4) その他懇親会 15 : 00 ~ 16 : 00
4. 問合せ先 いわき地域環境科学会事務局 担当 : 山田 (TEL : 0246-46-0800)

【行事案内】

平成 28 年度 第1回幹事会のご案内

平成 28 年度の第 1 回幹事会を下記のとおり開催します。幹事の皆様の積極的なご出席をお願いします。

記

1. 日時 平成 28 年 5 月 15 日 (日) 14 : 00 ~ 15 : 30
2. 場所 福島工業高等専門学校 専攻科棟 第 1 講義室
3. 内容 (1) 平成 27 年度事業報告および会計報告, 監査報告
(2) 平成 28 年度事業計画案および予算案
(3) 役員改選
(4) その他
4. 問合せ先 いわき地域環境科学会事務局 担当 : 山田 (TEL : 0246-46-0800)

【報告】 「いわき自然エネルギー研究会」の動き (第 9 報)

【1】自然エネルギー設備の整備が進みつつあります

○平下平窪地内の諏訪神社境内の自然エネルギー設備では、福島高専の電気工学科の先生方や草野芳久さんと大平一美さん達のご協力を戴いて、水力・風力・太陽光発電設備による発電量を表示する電源表示盤の設置が進められつつあります。併せて、表示用電力を確保するため太陽光パネルも増設しました。また、水車の回転により発電した電気を利用して、水車に LED ライトを新たに設置しました。(次ページに写真を添付)



○田人地区の自然エネルギー設備では、当会会員の蛭田弘幸さんが冬場の凍結対策として木製水車を一時取り外し修理しておりました。この春、リニューアルした姿を見せてくれています。

周囲との風景に溶け込んでいます。

○湯の岳山荘の自然エネルギー設備では、小型水車運転用の水は敷地内の池から汲み上げておりますが、その動力の更新を行ないました。



【2】東北地区 ESD 環境教育プログラム集が発行されました。

この3月に平成27年度版東北地区におけるESD環境教育の実践プログラム集が発行されました。因みに、福島県は、実質的に当自然エネルギー研究会が中心となり、諏訪神社近くの平4小を対象校とした実践を行っています。

プログラム名は「自然エネルギーって何だろう？～身近なエネルギーと私たちの生活～」です。

A4で7頁の記述です。

この報告書は事務局より20部ほど送られてきました。関心のある方は、いわき地域環境科学会の事務局にありますので、お申し出下さい。



【リレーエッセイ】



季節を感じる身近な野草

江尻 勝紀 (会員)

我が家の周りを気にしながら探索すると意外と色々な植物があることに気づきました。例えば、今年（平成28年）の1月から思い出すと、黄色のすいせん（水仙）が咲き、梅の花が咲きました。2月に季節外れの大雪が降り、木々の芽がしぼんでしまいました。フキノトウを取りましたが、苦みもあり年を重ねるごとに美味しいと感じるようになりましたが、家族の中で食する人はいませんでした。3月に入り、天気が回復し、紫色のカタクリの花、白い二輪草や一輪草の花が可憐に咲き、桜や桃の花が咲き乱れ、山の裾野に黄色のヤマブキや木苺の白い花が咲いていました。また、紫色のスミレや淡い朱色のショウジョウバカマがひっそりと花を咲かせていました。私も3月に定年を向かえて、今までは気にもしていなかった花が目映るようになりました。4月に入ると木々の芽が膨らみ、いっせいに淡い黄緑色の葉が出てきました。また、この時期にミツバチが毎年同じ場所（氏神様の一角に）にどこからかやって来て巣を作りました。



余談ですが、我が家は山を背負いながら家を構えています。60～70mもしたら住宅街になります。イノシシが我が部落にも現れ、あちこちで被害が出ています。また、イノシシ自体も人間に慣れて、白昼堂々と親子で畑とか田んぼに出てくるとの話聞いています。最近、畑の寄せなどに草刈りをして積み上げていると、その下に居るミミズを狙って掘り返すようです。なかなか駆除することが難しいようです。

さて、野草のことですが、その環境に即した自然条件で咲いているので、くれぐれも家に持ち帰って植えることは考えないようにしていただきたいものです。咲いているところを見て、きれいだなと感動し、またその季節になったらその場所へ行き、そのような場所を守ることも大切です。毎年その季節が来ることの楽しみを無くさないようにしたいものです。身近に咲く野草に感動を覚え、再認識したところです。今後も、野草を鑑賞しながら、身近な変化を気付き体感し、季節に触れていけたらと思っています。

2016. 5.1. No.116

発行：いわき地域環境科学会
福島工業高等専門学校
地域環境テクノセンター内
〒970-8034

いわき市平上荒川字長尾30

TEL. 0246 (46) 0837

FAX. 0246 (46) 0843

E-mail : mail@essid.org